

科目コード			開講期	通年
専修	社会学			
講義別	特殊講義		毎週時間	2
担当者 (職名・氏名)	人文科学研究 所・教授	富永 茂樹	単位	4
			曜時限	火 4
			教室	文学部新5演
題目	トクヴィル・モメント(4)—部分の消失			
授業計画 と内容	<p>「諸条件の平等」が惹き起こす、一方での中央権力の拡大と他方での個人主義の極度の発達にともない、かつては国家と個人とのあいだに、さまざまな水準と形式で存在した部分社会が失われてゆく。このことは『アメリカにおけるデモクラシー』でも、『アンシャン・レジームとフランス革命』でも、著者がたえず注目する主題であり、またトクヴィルが現代社会学のひとつのさきがけと見なされる、大きな根拠ともなっている。19世紀の政治哲学者の理論的射程を読み解くシリーズの4年目は、合衆国とりわけニューイングランドでトクヴィルが発見した「アソシアシオン」、絶対君主政下のフランスで衰退の途をたどる地方制度や同業組合など、いくつかの中間集団とその社会的意義を検討することが中心となる。</p>			
テキスト・ 参考文献	トクヴィル『アメリカのデモクラシー』(全4巻、岩波文庫)、『旧体制と大革命』(ちくま学芸文庫)、『フランス二月革命の日々』(岩波文庫)			
成績評価 方法・備考	学年末に筆記試験を実施する。			